

開催 結果

令和5年度 圏央道・新東名等整備促進大会

- 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会などの4団体が合同で、神奈川県内の幹線道路網の整備促進大会を開催 - 令和5年7月24日(月曜日)

促進大会の様子

要望活動の様子

■ 主催者挨拶 神奈川県副知事 小坂橋 聡士



「つながるべき道路をつなげていくことは、神奈川のみならず、国全体の経済エンジンをまわし、ポストコロナ社会の持続的な経済成長を実現していくためにも重要です。

引き続き、道路の整備や管理に関する国の予算を十分に確保できるように、皆様と連携しながら、国などに強く訴えてまいります。

■ 意見発表 秦野商工会議所 会頭 佐野 友保



市内の観光振興の促進や産業の活性化などに寄与する新東名の一日も早い開通と、経済への好循環を促す国道246号バイパスの建設促進を期待します。

■ 大会決議 秦野市長 高橋 昌和



安全で活力と魅力ある神奈川を実現するため、国土強靱化に必要な予算の確保や、高速道路網の整備促進を図ることなどについて、強く要望します。



▲ ホテルメルパルクヨコハマで開催

■ 意見発表 小田原市長 守屋 輝彦



「世界が憧れるまち小田原」の実現のためにも、圏央道、新東名、伊豆湘南道路といった幹線道路のネットワークが不可欠であり、早期完成を強く訴えていきます。

■ 閉会挨拶 厚木市長 山口 貴裕



道路ネットワークの整備は、経済成長や豊かで活力ある地域づくり、安全・安心な県土づくりの礎となるため、一致団結して道路整備の必要性と財源確保を訴えていきます。

■ 国土交通省 丹羽道路局長



(左から) 戸村中井町長、山口厚木市長、丹羽道路局長、小坂橋副知事

整備促進大会終了後は、小坂橋神奈川県副知事、山口厚木市長、戸村中井町長が、国土交通省丹羽道路局長に対し、整備促進大会で決議された「神奈川県内の幹線道路網の整備と活用」に関する要望を行いました。

■ 会場要望活動の様子



整備促進大会終了後は、東日本・中日本高速道路(株)、首都高速道路(株)に対し、整備促進大会で決議された「神奈川県内の幹線道路網の整備と活用」に関する要望を行いました。